

公益法人として活動開始！日本フィランソロピック財団

寄附を通じた社会貢献に、基金というソリューションを提供します

2021年3月25日

公益財団法人日本フィランソロピック財団
代表理事 岸本 和久

日本フィランソロピック財団（所在地：東京都千代田区、代表理事：岸本 和久）は、2021年3月25日に内閣総理大臣（内閣府）により「公益財団法人」*として認定を受けました。これをもって、寄附者の方々への寄附への税制上の優遇措置が適用される環境が整いました。寄附を通じた社会貢献を考えていらっしゃる方々に基金というソリューションを提供する事業を本格展開いたします。

WEBサイト：<https://np-foundation.or.jp/>

*「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律5条」に基づき行政庁により認定された法人です。不特定多数の方々の利益の増進に資するよう公益性とガバナンスなどの観点から厳格な認定基準が設けられています。また、公益法人へ寄附をした場合および公益法人自体への税制上の優遇処置が設けられています。

・当財団の特徴

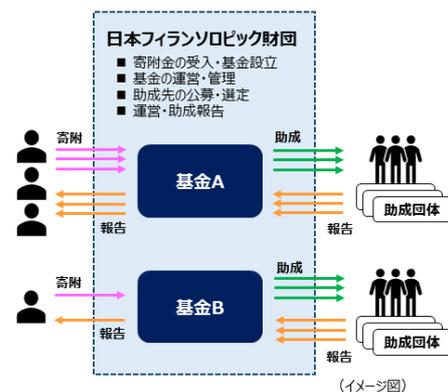
自身で財団を設立するほどではなくても、寄附でどのように自分の「おもい」を活かすかを考えている方はたくさんいます。当財団では、そのような方たちの「おもい」に丁寧に寄り添い、目的や予算規模に合わせた基金を設立します。この基金の設立は個人、法人問わずお申し込みが可能で、基金から継続的かつ計画的に社会課題の解決に向けた支援を行うことができます。手続きの複雑さから受け入れ団体の少ない有価証券による寄附をはじめ、さまざまな資産で基金を設立できます。当財団は多くの金融機関の協力を受けて、寄附を検討されている方々へアプローチしていきます。

- 目的や予算規模に合わせた基金の設立
- 有価証券をはじめ様々な資産による寄附受け入れ
- 多くの金融機関の協力を受けたアプローチ

・基金の仕組み

従来の助成財団や企業財団とは異なり、財団内に多くの基金を設立し、その基金の目的に合わせた助成プログラムによる社会貢献を実施します。寄附者の方は、基金を通じて、自ら財団を設立するのと同様の社会貢献ができます。

基金の設立においては、寄附者の方が、関心のあるテーマ、「おもい」のある分野、応援したい地域などを指定します。基金には、自身の寄附のみで設立する基金と、財団がテーマを掲げて設立する基金の2種類があります。⁽¹⁾自身の寄附のみで



設立する基金には命名することもできます。

基金は、財団が責任をもって運営します。助成事業では、その基金のテーマや分野に沿って公募を行い、当財団の選考委員会の報告をもとに助成先を決定します。基金の運営状況や助成事業については定期的に報告を行います。

・日本フィランソロピック財団の概要

名称	公益財団法人 日本フィランソロピック財団
代表理事	岸本 和久
設立者	岸本 和久 鵜尾 雅隆（認定特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会代表理事） 鈴木 栄（一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ（SIP）代表理事）
設立日	2020年4月27日（一般財団法人として設立）
公益認定日	2021年3月25日
所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目3-1 幸ビルディング9階
ホームページ	https://np-foundation.or.jp/
主な事業内容	社会貢献事業への資金提供を目的として、寄附を募り、それを基金として管理運営し、助成などを行う事業

2020年11月に「子どもぬくもり基金」を設立しました。この基金は、「DV、虐待や性暴力の被害などのさまざまな理由により居場所がなくなった子どもたちを支援するための事業」を支援します。「第1回日本フィランソロピック財団公募助成金」として申込募集を行い、10件のご応募をいただき、選考委員会の審査を経て、2団体への助成を決定しました⁽²⁾。

・岸本代表理事からのメッセージ

私は33年間、金融業界に身を置き、22年間の海外勤務で様々な投資のかたちを見てまいりました。その中で感じたのは、お金の流れの変化の兆しです。21世紀は、自分自身への経済的リターンだけでなく、社会的なリターンを求めお金の使い方が主流になることを強く実感しています。その意味で、寄附は社会的リターンを求める「未来への投資」です。

わが国でも寄附は善意の資金循環として拡大しつつありますが、世界第2位の個人金融資産額を有する日本の個人寄附額は、米国の5%にも満たない⁽³⁾のが現状です。

しかし、金融業界での経験から、日本には社会貢献を考えている方がとても多いことを認識しました。それゆえに、この度の公益財団法人の認定を受けて、今まで以上に利他の精神に富んだ寄附者の方々と、次の世代へ託す社会づくりの一端を担ってまいります。

・財団名とロゴマークに込めた「おもい」



「フィランソロピー」、「フィランソロピック」とは

フィランソロピーはラテン語の「philos」（＝愛）と「anthropos」（＝人）から成っており、人を愛することで、社会奉仕や社会貢献のことを意味します。社会貢献を達成するための取組みをフィランソロピック・イニシアチブと呼びます。当財団は寄附された方のフィランソロピック・イニシアチブの実現をお手伝いします。

ロゴカラーについて - 「フィランソロピック・ブルー」

最も濃い藍の色である紺色の中でも、もうこれ以上染まりようのない濃い紺色を「留紺（とめこん）」といいます。私たちはこの留紺を「フィランソロピック・ブルー」と名付け、これ以上ないほどの社会への思いや慈悲深さを、濃く、深みのある色彩で表現しています。

ロゴマークについて

当財団へのご寄附を、「おもい」のこもった襷（たすき）ととらえ、これからの世代に向けてバトンをつないでいく様子を表現しています。また、「Philanthropic」の頭文字である「P」を意匠化したデザインになっています。

¹ 基金とは（日本フィランソロピック財団） <https://np-foundation.or.jp/kikin/about.html>

² 日本フィランソロピック財団ニュース <https://np-foundation.or.jp/information/20201228.html>

³ 日米英韓 4 カ国の個人寄付総額比較（日本ファンドレイジング協会） [2017kifuhakusho-infographic.pdf \(jfra.jp\)](https://www.jfra.jp/2017kifuhakusho-infographic.pdf)

<お問い合わせ先>

公益財団法人日本フィランソロピック財団 代表理事 岸本 和久

担当：事務局 長谷川 攝

〒100-00011 東京都千代田区内幸町1丁目3-1 幸ビルディング9階

TEL：050-5433-8008（10時00分～17時00分）

MAIL：info@np-foundation.or.jp

WEBサイト：<https://np-foundation.or.jp/>